

## 教育会だより No. 3

## &lt; 定期総集会特集 &gt;

諏訪教育会本年度テーマ

「より据える より深める より開く ～変わらないために変わり続ける～」

～ 好天に恵まれた爽やかな1日、充実した研修日となりました ～



5月18日(土) 諏訪市文化センターにおいて、令和元年度 諏訪教育会定期総集会が開催されました。大勢の会員の先生方にご参集いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

午前の研修講座では、8つの研修会場で、今後の実践につながる体験型の研修が行われました。また、研修講座に引き続き、会員によるすばらしい歌声の発表も行われました。午後の季節大学では、城郭考古学者の千田嘉博先生を講師にお迎えし、「城から考える歴史」と題したお話をお聞きすることができました。100名を超える一般の方々にも聴講いただき、千田先生の魅力に引き込まれる大変有意義な時間となりました。

総集会・季節大学の詳しい様子については会誌や会報、諏訪教育会ホームページ等に掲載されますのでご覧ください。

## 会長挨拶(抜粋)

(令和元年度 諏訪教育会長 矢島 俊樹)



初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。風薫る五月後半となり、諏訪の山々の緑が深まりを見せ始める季節となりました。明治十五年に設立された「諏訪教育会」も年を重ねるごとにその活動を深め、明治、大正、昭和、平成、そして令和という新しい時代を迎えました。ここに諏訪教育会の精神と伝統を受け継ぎ、さらに発展させてこられました諸先輩の皆様、そしてご来賓の皆様のご臨席を賜り、「令和元年度 諏訪教育会 定期総集会」を開催できますこと、心より感謝申し上げますとともに、本年度の出発にあたり、諸先輩の皆様方にご指導、ご助言をいただけますことに会員を代表し、厚く御礼申し上げます。

さて、安倍首相は「令和」に込められた想いを「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」と述べていますが、これはまさしく教育会のことと私は感じました。雑誌諏訪教育の創刊号で、歌人であり教育者島木赤彦の弟君である塚原葦穂先生が諏訪教育会の草創期を振り返り、「明治三十年頃には郡内の青年教育者が盛んに相往来して当時の教育を批判し、将来の教育を論ずる風の頗る強いものがあった。(中略)そして従来の形式主義厳粛主義の教育に対する革新の議論が交わされ、郡市の境界を超越して東西相往来し、互いに革新の機運を鼓吹することに努め、やがて諏訪の天地から教育革新の砲火が揚げられるに至ったのである。」と書いておられます。また戦後間もない昭和二十八年発行の第三号巻頭言では矢島彦治会長先生が戦後の所謂新教育について「新しい教育の原理や方法は戦後突如として課せられたようにも考えられるが、我々の先輩が歩んだ道にはすでにこれに通うものがあったのを見いだすことができるであろうし、また我らの先達がいかに教育の確立に努力してきたかという逞しい歩みをも知ることができるであろう」と結んでいます。子どもたちを中心に据え、自らの指導に自発的な問いをもち、仲間と共有しながら教育者としてあるべき姿を共に探究していこうとする姿勢は、明治期より変わらない教育会の存在意義ではないでしょうか。

文部科学省は来年度に本格実施となる学習指導要領の改訂を、教育史上三回目の大きな改革と位置づけています。しかし、このことについて私自身はきわめて楽観的です。なぜなら諏訪には、子どもを中心に自らの指導の有り様を変えるため自主研修に取り組む風土が明治以来連続と繋がっているからです。

今年度の諏訪教育会テーマは「より据える より開く より深める」を昨年度より継続させ、サブテーマを「～変わらないために変わり続ける～」と位置づけました。学ぶことにおいてのみ私たちは変わることができます。諏訪教育会は、自発的な職能団体として、先生方の主体的な学びを支える活動を一層展開してまいります。

活動の一つとして、諏訪教育博物館を軸にした活動を本年度も考えております。教育博物館を、内を磨き、外に開くキーステーションにしていきたいと思っております。諸先輩が創り上げてくださったものを活かしながら、諏訪教育会の根本として伝わってきた変わらないものを問い続ける。そして自分なりの考えをもち、様々な活動を通して次の世代へ伝えるべき変わり続けることをつかんでいく。令和の諏訪教育会の活動を、全員の力で充実させていきたいと願っています。

一週間前にこの諏訪で起こった事案につきましては、全ての皆様方が心を痛めていると思っております。諏訪では過去に大きな事案が連続して起こったことがありましたが、皆で前を向き、子どもの前に立つ自分のあり方を真摯に問う中で、立ち上がってきた実績があります。当該校だけの問題にすることはできません。繋がりましょう。教育会を研修の場として。繋げましょう。先輩方が繋いでくださった襷を。

結びに、本日の定期総集会、季節大学が、一堂に集った会員の皆さんにとって、共に学び合う、意義あるものとなることを祈念して、挨拶といたします。ありがとうございました。

# 研修講座の様子



## 諏訪のどの学校でも扱える，身近な問題の教材化（社会科委員会）

小学校はマッフルを使い、地域教材を落とし込んだ地図を作成しました。中学校はTVドラマ「昔話法廷」を使って教材かに取り組みました。参加者の皆さんからも、楽しく活動できた、授業で活用したいという感想がありました。

## すぐに役立つ！心も体もぼっかばか！！体づくり運動（体育・保体委員会）

スタートからすぐにダンス！たくさんの授業で使えるアイデアを体を使って研修しました。参加者からは、60分では足りない、今年はきついですね！と、笑顔の感想がありました。



## 諏訪の歴史ハンドブック・諏訪地図の紹介・活用（郡史・地図委員会）

諏訪の歴史ハンドブックを6市町村すべてで授業に生かしてほしい。そんな思いのあふれる発表でした。参加者からも、初めて知った。授業で使いたいという感想がありました。



## 新しい時代に諏訪郡児童生徒文集『みずうみ・やまなみ』（みずうみ・やまなみ委員会）

授業での活用をみんなで考えました。参加者から創刊当時の子どもたちの文章力や言葉遣いを今の子ども達にも伝えたい、という感想がありました。



## 算教科の専門の先生方でも安心。算数・数学のおもしろさを感じよう（算数・数学委員会）

自動計算アプリや電卓を使った遊びの原理、正多面体作りの工夫やクロスカリキュラムのアイデア等、たくさんの教材について研修しました。



## 子どもと取り組む紙工作（教養委員会）

ペーパークラフトに取り組みました。初めての方も多量中、オリジナル作品に取り組む先生も多く、良い研修となりました。



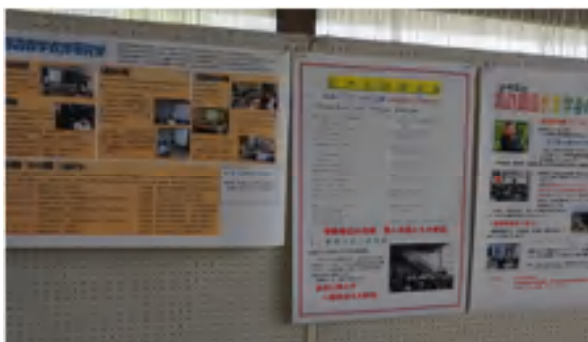
## 笑顔あふれる学級づくり（特別活動委員会）

明日から学級ですぐに使える体験型のワークショップを行ないました。参加者からは、とても楽しかった。早速クラスの活動に使いたい。という感想がありました。



## 違いをわかり合える関係づくり（環境教育委員会）

「つながり」をテーマに、自然の中で感謝の気持ちを大切に体験活動を行ないました。参加者からは、間違ってもいい、みんな違うところができとーでいい。というところがとてもうれしく、印象に残りました。という感想をたくさんいただきました。



研究会のポスターセッション



音楽発表

